

まちの魅力向上に向けた道路等の公共空間活用検討会 第2回 北の丸公園周辺地域委員会 会議録

日 時：平成28年12月20日（火）午後6時01分～午後7時56分

会 場：千代田区役所4階 401会議室

出席委員：小澤一郎（委員長） 青柳正規（副委員長） 阿部貴弘 向笠 滋 窪田憲子
新元一弘 伊藤哲夫 木下 彩 桃園貴美子 廣常啓一 金子久美子
荷見雄二（代理） 松本俊男 福富 彰（代理） 新谷景一
佐川慎一郎（代理） 立川資久 河合芳則 細越正明 坂田融朗
（敬称略）

事務局：小川景観・都市計画課長 神原麴町地域特命担当課長

配付資料：次第

席次表

第一回北の丸公園周辺地域委員会議事録

第一回委員会における意見について

北の丸公園周辺地域委員会（第2回）資料

1. 開会

【小川景観・都市計画課長】

定刻になりましたので、まちの魅力向上に向けた道路等の公共空間活用検討会 第2回北の丸公園周辺地域委員会を開催したいと思います。

本日は大変お忙しいところお集まりいただき、誠にありがとうございます。

ここで皆様にお諮りしますが、前回同様、本委員会は原則公開にしたいと考えております。いかがでしょうか。

※異議なし

【小川景観・都市計画課長】

それでは、原則公開とさせていただきます。また、前回同様、記録のため、写真撮影と録音をさせていただきます。よろしいでしょうか。

※異議なし

【小川景観・都市計画課長】

お手元に配付しました資料のご確認をさせていただきます。

資料は、本日の次第、席次表、第1回地域委員会の議事録と「意見について」、第2回地域委員会の資料（A3判）です。足りないものがございましたら、事務局までお声かけをお願いします。よろしいでしょうか。

ただいまから、第2回北の丸公園周辺地域委員会を開会します。

私は、本日の司会を努めます本委員会の事務局、千代田区環境まちづくり部景観・都市計画課長の小川と申します。よろしく申し上げます。

ここからは小澤委員長に会の進行をお願いしたいと思います。よろしく申し上げます。

2. 議題

【小澤委員長】

小澤でございます。第2回北の丸公園周辺地域委員会を開催します。

最初に出欠の確認ですが、お手元の席次表をご覧ください。本日欠席のご連絡をいただいているのは、株式会社ジェイティービーの山下委員です。そのほか3名の委員について、代理の方が出席されていますので、ご紹介したいと思います。

まず、国土交通省関東運輸局観光部観光地域推進課長の岡村委員の代理で、荷見（にいみ）様のご出席です。荷見様、よろしくお願ひします。

【荷見氏（岡村委員代理）】

どうぞよろしくお願ひします。

【小澤委員長】

次に、麴町警察署長の衣川委員の代理で、交通課長の佐川様のご出席です。佐川様、よろしくお願ひします。

【佐川氏（衣川委員代理）】

佐川です。よろしくお願ひします。

【小澤委員長】

もう一方、宮内庁管理部管理課長の石原委員の代理で、福富様のご出席です。

【福富氏（石原委員代理）】

福富でございます。よろしくお願ひします。

【小澤委員長】

よろしくお願ひします。以上が出欠状況及び代理出席の方のご紹介です。

最初に、これからの会の進め方について、事務局の小川課長から説明願ひします。

【小川景観・都市計画課長】

これからの会の進め方ですが、当初、おおむね3回程度とご案内をしておりました。

前回は、顔合わせとこれまでの検討の結果等のご紹介をしました。

本日は第2回ですが、北の丸公園周辺地域のまちづくりの基本的な考え方をご説明し、皆様のご意見を頂戴したいと思います。

第3回は、九段坂公園、代官町通りの設計の条件などを整理していきたいと思ひます。また、九段南一丁目の整備案、代官町通りについても、具体化をしたいと思ひます。まちづくりの基本構想も、形にしていければと思ひておりました。それらをお示ししてご意見を頂戴し、第4回でまとめていきたいと思ひておりました。

その後、具体的な設計等が固まってまいりますので、フォローアップ、新しい課題が出れば、委員会で検討して進めていくという進行を考えておりました。

以上でございます。

【小澤委員長】

ありがとうございます。当初、委員会を3回開催するとのことのご案内があったかと思いますが、事務局で作業の状況や進め方を精査した結果、4回開催したいとのことでした。

第1回と本日の第2回については、ご出席の委員のそれぞれのお立場から全般的なお話でも結構ですし、具体的なお話でも結構ですが、できるだけご意見をいただき、第1回と本日の委員会でいただいたご意見を事務局で十分消化して、次回第3回に素案をお示しし、ご審議いただく予定にしたいとのことでした。

第3回にお示しする素案については、北の丸公園周辺地域の全体的なまちづくりの考え方と、具体的に九段坂公園や代官町通りなどの公園と道路については、オリンピック・パラリンピック関連で整備を必要とする施設になると思いますので、これらの施設の整備を具体化するための考え方といいたいでしょうか、ご意見をいただいた上で、条件整備の案を出すということで第3回目の素案を審議して、第4回にまとめの案を出していきたいとのことでした。

事務局として、そういう進め方をさせていただきたいということですので、よろしいでしょうか。

※異議なし

【小澤委員長】

ありがとうございます。そのような進め方で、これから第3回、第4回と進んでいきたいと思っております。

それでは、お手元の議事次第に沿って、始めたいと思っております。まず、議題の1番目で、「第1回委員会の振り返り」と書いてありますが、議事録要旨、ご意見の要旨について、事務局からご説明をお願いします。

【事務局】

それでは、事務局から、第1回の振り返りとして、各委員からのご意見等について、ご説明させていただきます。本日、第1回の議事録をお配りしておりますが、各委員からの修正のご指摘を反映したものです。後ほどご確認いただき、修正等がありましたら事務局までご連絡をお願いします。

なお、議事録は、このまま修正のご連絡がなければ、1週間程度で千代田区ホームページで公開する予定です。

次に、「第一回委員会における意見について」という資料をご覧ください。第1回委員会で出されたご意見をまとめております。会の冒頭に区長からご挨拶申し上げましたが、世界に誇る風格あるまちづくりを実現するため、千代田区に住み、集う多様な人々が、それぞれの立場や障害の有無を乗り越えて、互いの価値観や文化を受入れるまち、清潔で安全・安心な、誰にもやさしいバリアフリーと「おもてなし」のあるまち。江戸時代の歴史と文化、自然に培われた「地域の魅力」のあるまちを目指していく、という言葉があったと思っております。事務局としては、今後、議論をしていただく基本構想の中のまちづくりの目的、目標や将来像にできればと考えております。

続いて、論点の提供として、3人の委員からご意見をいただきました。阿部委員から、北の丸公園周辺の江戸期から現在への移り変わりのお話、廣常委員から、道路や公園などの公共空間の活用による公民連携のまちづくりのお話、山下委員から、オリンピック開催がもたらす新たな成長ステージのお話をいただいております。

それらのお話を受けて、全体を通して委員全員にご意見をいただいております。それらのご意見の性質を踏まえ、事務局で、「まちづくりの方向性」、「配慮すべき事項」、「課題」の3つにまとめさせていただきました。

「まちづくりの方向性」については、「北の丸公園の歴史の変遷を活かしたまちづくりを目指すべき」、「人が交流する場であってほしい」などのご意見がありました。

「配慮すべき事項」については、「北の丸公園の連携した活動が大事」、「外国人や障害者等も使える配慮」、「さくらを代表としたサブティナブルの発信」などのご意見がありました。

「課題」については、「周辺に駅が多いが、バリアがたくさんある」、「公共交通の利用促進」、「ランナー、歩行者、観光客が共存できる心地よい環境づくり」などのご意見がありました。

これらのご意見については、今後の基本構想策定に関して貴重なキーワードとして全体の考え方の中で生かしていきたいと考えております。

その他、会の運営について、「前年度の成果をもとに議論すべき」とのご意見がありました。前年度に行った会議ですが、各管理者の実務者が集まり、本年度、本委員会を開催するに当たっての材料出しをしたような形になっております。最終的なまとめの部分は、九段坂公園や代官町通りの周辺の課題などを出して、個別の場所について具体的なことをまとめております。

したがいまして、この委員会では、九段坂公園や代官町通りの部分については、昨年度の結果や、これから行われる意見をもとに、それを検証して、実現できるものとできないもの、変更していかなければいけないものに分けて、これから先、議論していただく基本構想の中に盛り込んで、経緯を説明させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。その他、地域全体のことについても、これから議論していただくことを踏まえて、基本構想としてまとめていければと考えております。第1回委員会の振り返りについては、以上です。

続きまして、「オリンピック・パラリンピック特別委員会での議論」について、口頭で報告をさせていただきます。

千代田区議会の特別委員会として、「オリンピック・パラリンピック特別委員会」が設置されています。12月6日に特別委員会が開催され、第1回北の丸公園周辺地域委員会について報告し、ご意見を頂戴しておりますので、紹介させていただきます。

報告した事項は、委員名簿、委員長・副委員長の選任、議論の枠組み、北の丸公園周辺の状況と検討の材料、各委員からの論点の提供と頂戴したご意見です。内容については、先ほどご紹介したとおりです。

特別委員会の委員から、「九段坂公園の現時点での整備の考え方はどうか」という質問がありました。これについては、「水辺に沿って歩ける道、麴町消防署九段出張所跡地の利用、バリアフリーなどが考え方としてあるのではないか」とお答えしました。

また、「委員会のメンバーに国や都も入っているのは」という質問については、「国・都が管理する部分も密接に関わり、理解や協調が必要であるからご参加いただいております」とお答えしました。

また、「委員会の到達点については、どういったイメージを持っているのか」という質問について、「区が管理する道路、公園を中心として、公園を取り巻く周辺の基本構想から具体的な設計に到達したいと考えている」とお答えしました。

また、「オリンピックを見据えて、行政として目指すところはどこか」という質問について、「3つのコンセプト、バリアフリー、濠沿いの歩行者の動線、公園等の整備を考え

ている」とお答えしました。

そのほか、「代官町通りの整備を進めてもらいたい。内堀通りのつくり込みに取り組んでもらいたい」という要望がありました。

また、皇居のお濠の現状について、「水にアオコが浮いて汚い」というご意見に対し、「皇居外苑管理事務所で継続的に水質の改善等に取り組んでいただいている」との報告をさせていただきます。

12月6日の区議会オリンピック・パラリンピック特別委員会での議論については、以上です。

【小澤委員長】

ただいま事務局から、「第1回委員会の振り返り」ということで、議事録要旨について、1枚紙でのご説明がありましたが、これについてご発言はございますか。よろしいでしょうか。

会議録について、メール等でご連絡があったかと思しますので、ご覧いただき、もしどうしてもここはこう訂正したいというものがあれば、事務局にお伝えいただければと思います。よろしくをお願いします。

2点目は、区議会に設置されておりますオリンピック・パラリンピック特別委員会での議論のご紹介をしていただきました。1番目の議題はこれをもって終了ということでしょうか。

※異議なし

【小澤委員長】

どうもありがとうございます。

それでは、2番目の議題、「北の丸公園周辺地域のまちづくりの基本的な考え方」について、事務局から説明、プレゼンテーションをお願いします。

【小川景観・都市計画課長】

動画をご覧いただきながら、北の丸公園周辺地域の現況をご紹介します。

現在地の区役所はこちらです。庁舎前に内堀通りが通っており、通りの向かい側に濠と旧江戸城の清水門があります。

区役所の向かい側には、民間の千代田会館が建っています。

その隣の区役所跡地には、私どもの高齢者総合サポートセンター「かがやきプラザ」と国家公務員共済組合連合会の九段坂病院の合築の施設が昨年11月にオープンしました。

その隣の九段下交差点に面した建物が改築計画のある九段会館です。

「かがやきプラザ」には、大きなコンセプトがあります。玄関から濠に向けて、1本の廊下で動線をとっています。廊下を抜けて、バルコニー・デッキを下り、千代田会館側へ下っていきますと、濠側へ出ることができるようになっています。

濠沿いに、敷地内にあった石碑を集約してあります。また、濠沿いを回りますと、清水門と江戸城の石垣を見ながら、日本武道館（以下「武道館」という。）がよく見えるという、かなりいいロケーションになっています。

武道館側へ歩いて行きますと、九段会館の建物に当たることになります。

九段会館は、現在閉鎖されていますが、大変歴史性のある建物なので、保全活用について、今年の6月まで議論されました。その結果、九段下交差点と内堀通りに面した部分を

重要な部分として保存を考えていくこと、濠側は高度利用が図れる部分としております。

歩行者動線としては、「かがやきプラザ」の裏側から昭和館まで抜けていく道を確保していくことが、基本的な整備の方向性です。これから国が事業者を選定して、実際に決まるのは、来年の夏過ぎ頃になろうかと思えます。

九段下の交差点を見ていただきます。こちらに駅があり、エレベーターがあるのがこのあたりです。この交差点で地上からエレベーターが直通しているのは、ここだけです。

九段会館も保存していく部分があるのですが、創建当時の設計コンペの中でパースを書く方向が「九段下交差点から見たこのところを書きなさい」と指定されていて、デザイン的にもこの部分を大事にしていたところです。

九段下の交差点から九段坂の上を見上げていきます。これが坂の途中にある九段坂公園寄りの出口です。看板が出ておりますが、エスカレーターと階段だけで構成されていて、下の方は階段を使う形です。

九段下の交差点ですが、地上までのエレベーターが南東側の民地内に1か所あります。もう1か所、北の丸スクエア側に民間の設けたエレベーターがあります。新しくエレベーターができたことで、坂の途中まで行くバリアフリー動線ができました。こちらは上り下りのエスカレーターもあります。このエレベーターに乗ると、靖国神社側へ出る形になります。

坂の上に歩道橋があります。歩道橋の上から、神保町側と市ヶ谷側、公園を見おろした写真を見ていただいた後、このルートを通って濠沿いに歩いて行きます。これが靖国神社の正面です。東京スカイツリーが歩道橋の上からよく見えます。田安門側を見おろすと、品川弥二郎の銅像があります。

濠沿いに歩けるルートは、幅員は狭いですが、現在もあります。ちょうど銅像の裏を通っていくような形になります。銅像の横に、歩道から入ってくるバリアフリー動線というか、スロープを設けてあります。大変狭いので、歩く以外には使えないような幅になっています。

ここが広場プラス展望台として、昔からあったところです。

ここに大山巖の銅像があつて、紅葉がかなりきれいです。大山巖の銅像の裏を通るには、階段を上りながら通っていくことになります。

これが日清戦争の顕彰碑です。顕彰碑があつて、幅が大変狭いので、あまり通らないようにカラーコーンが置いてあります。ここを通り、公衆便所の裏を通って、靖国通りへ抜けることができます。ここも大分階段がありますが、一応、通れる形になっています。

これが麹町消防署九段出張所の跡地です。現在、カラーコーンが置いてありますが、「ちよくる」というコミュニティサイクルの置き場になっています。

千鳥ヶ淵の緑道に入ってきました。緑道も水飲み場等の整備がされています。また、農林水産省三番町共用会議所前に通路が整備されています。

緑道のほぼ真ん中に千鳥ヶ淵のボート場があり、ボート場から景色を見ております。現在、濠のかいぼりを行っており、ボートが動いていない状態です。ボート場がクローズしているのに中に入れませんが、オープンしていればデッキに沿って濠の上まで行けます。かいぼりで、大分水が減っていることがご覧いただけるかと思えます。

緑道から内堀通りへ出たところです。正面に区立千鳥ヶ淵小公園があり、緑が多いところになっています。

内堀通りを通って、代官町通りへ入るところです。代官町通りのこちら側で、環境省が整備に取り組んだ場所がありますので、ご紹介しながら行きたいと思えます。展望台というか、物見のような空間が作られています。反対側もかなりきれいな植栽で、いい景観に

しようという取組みをされており、水辺もきれいに見えます。なお、現在は水が減っているので、きれいに見えませんが。

石積み階段を上って土手の上に戻ると、シンボルツリーのような大きな木があって、まわりの建物と濠と首都高速道路が見えます。濠側に寄ってみると水辺の景観がよく見え、桜の季節は、桜と水が映って大変きれいなところですよ。

高射砲の跡が点々としてあります。こちらが散策路で、土手の上で目線が高くなるので、代官町通りを走っているランナーがよく見えます。道路というか、園路の広さは大体こういう感じです。このあたりの芝は刈り込まれているので、従前より大分よく見えます。夏場は芝が生い茂って、夕暮れになると鬱蒼とした感じがします。

歩いて行きますと、土手の上の道は犬を連れての方に会う確率が非常に高く、この日だけで3組ぐらいいらっしゃいました、ほとんどの方が犬を抱えているか、散歩でした。土手の下は、高齢者の方が多いのかなと思います。ランナーや歩行者が多く、自転車もこちらのほうが多いようです。大変狭いところがあるのですが、土手の下へおりていく石で切っただけの階段があります。片側にはガードパイプがありますが、反対側は植栽だけになっています。ここで土手を下っていくと、代官町通りと合流する形になります。

東京国立近代美術館工芸館（以下「工芸館」という。）が見えてきましたが、階段を少しおろします。代官町通りの下のところはランナーが多いのですが、一部、桜が抜けているところもあります。自動車の交通量が予想外に多いエリアです。土留めを設けてあるので、非常に歩きやすい道路になっています。

少し先に行きますと、比較的歩道も広く、この時期なりの花が咲くところもあって、下は下でいい環境といえますか、快適に歩けます。木が植えられていない場所は少し目立ちますが。

ちょうど半ばを過ぎて、先ほどご覧いただいた階段がこちらに見えてきます。下から見上げると、それなり高さがありますので、通りを歩いている方が上の方を見る目線はあまりないのですが、先ほどご覧いただいたように、土手の上を歩いている方は、非常に見晴らしもよく、代官町通りとの一体感があります。

こちらで合流してくるのですが、急に道路が狭くなってくる感じで、工芸館の前へ進んでいくこととなります。ここも花が大分きれいに植えられているところで、この写真よりも実際の花のほうがきれいに見えます。

景色はいいのですが、すぐ目の下の首都高速道路をかなりの台数の自動車が通っていて、騒音が大きいので、高速道路の上を渡る道しかないため、ここを渡ることとなります。

こちらの広場に抜ける道もあるのですが、そのまま真っすぐ代官町通りに沿って進みます。これが首都高速道路の料金所で、色が派手なものが立っているのは、これです。これが3番目の銅像・北白川宮能久親王像です。

下から来たところに銅像があって、このカーブのところに陸橋があります。この陸橋のところをご覧いただき、こちら側に沿って下へおりていきます。高速の下を公園をご覧いただくこととなります。これがそのカーブのところの写真です。中央分離帯にかなり余裕があり、かなり大きな歩道橋があります。歩道橋の上からは、国立公文書館、東京国立近代美術館本館（以下「近代美術館」という。）がよく見え、かなりロケーションのいいところですよ。

道路の反対側に渡って、歩道橋を見て、道を下っていきます。こちら側はランナーが圧倒的に多いところですよ。

あまり気づかれないのですが、竹橋御門跡といい、竹橋の遺構がこの横のところにあります。竹橋なので、多分、竹にしたのだらうと思うのですが、竹のモチーフがふんだんに

あるところ。この高欄も竹のデザインになっています。

パレスサイドビル側と、地下鉄の出入り口をご覧いただきたいと思います。竹橋駅は、エスカレーターなしで階段のみという出入口が最寄りにあります。大手町側は、今、エレベーター工事をしています。

高速道路が抜けていく下の公園は、ちょうど濠に面している場所ですが、どうしたらよいかというところもあります。濠の水に建物が映って大変きれいに見えるのがいいところ。武道館がだんだん見え始めて、区役所の前まで来ると、武道館の頭が見えます。

これは麹町消防署九段出張所の跡地から見た東京タワーのライトアップです。東京タワーが大変よく見えるロケーションなので、桜の季節、大変多くの方がここから写真を撮り、ライトアップをご覧になっています。

長い時間を頂戴しましたが、現状はこのようなところ。この後、担当の中村から、この地区をどう考えるかをご紹介させていただきたいと思います。

【事務局】

紙の資料でご説明させていただきます。もともと街路に囲まれている場所ですので、この地域を4つゾーンに分けて、それぞれ使っている人が違うのではないかと考えたものをお示ししたいと思います。

2020東京オリンピック・パラリンピック期間中及びその後を見据えた世界に誇れる風格あるまちづくりを目指して、まちをどうしていくか、材料をお示します。

2ページ目の絵をご覧ください。「九段坂周辺ゾーン」は、赤い点線で囲まれたところで、九段下から九段坂公園や田安門を経て、九段坂の西まで、400m程度のゾーンです。

緑の点線で囲まれている部分が「千鳥ヶ淵緑道周辺ゾーン」で、延長約800mです。

青い点線で囲まれている部分が「代官町通り周辺ゾーン」で、延長約1kmです。

紫の点線で囲まれている部分が「牛ヶ淵・清水濠周辺ゾーン」です。

この4つのゾーンについてまとめてみました。

全部をご紹介すると長くかかってしまいますので、かいつまんでご紹介します。

九段坂周辺ゾーンは、お濠と千鳥ヶ淵緑道の桜を臨む絶好の眺望ポイントがあり、九段坂公園には、歴史的価値のある高燈籠（常燈明台）や明治政府の高官を努めた品川弥二郎の像があります。このゾーンで整備が考えられるものとして、日本武道館や九段坂公園があります。このゾーンを使っている人のイメージは、桜の花見、入学式、卒業式、イベント、参拝、待ち合わせなどではないかと考え、まとめています。

次に千鳥ヶ淵緑道周辺ゾーンは、江戸城の城郭の変化を楽しみながら歩ける遊歩道や全国でも有数の桜の名所で、千鳥ヶ淵環境再生、区の花さくら再生計画を進めています。このゾーンを使っている人のイメージは、桜の花見、散策、昼食、ボートなどのほか、地元住民の方が通行しているのではないかと考えました。

代官町通り周辺ゾーンは、皇居と代官町通り、土手に囲まれた静かな空間で、眺望が広がる場所であって、皇居周辺のランニングコースにもなっており、美術館などの建物も多く、代官町通りの整備が予定されています。このゾーンを使っている人のイメージは、桜の花見、皇居の乾通りの通り抜け、皇居ランニングなどが考えられます。歴史、建物の公共空間、風景、自然など、要素が多くあるゾーンです。

牛ヶ淵・清水濠周辺ゾーンは、内堀通りに面して、お濠沿いの景観を楽しみながら歩ける場所。千代田区役所などの官公庁の建物が並び、ゾーンとして整備の考えられる場所で、内堀通りの整備や九段会館の改築などが計画されています。このゾーンを使っている人のイメージは、ビジネスマン、病院の利用者などではないかと考えました。

ご紹介させていただいた4つのゾーンの中で、九段坂公園周辺ゾーンでは九段坂公園の整備、千鳥ヶ淵緑道周辺ゾーンでは区の花さくら再生や千鳥ヶ淵の環境再生、水質改善。代官町通り周辺ゾーンでは代官町通りの整備。牛ヶ淵・清水濠周辺ゾーンでは内堀通りの整備や九段会館の改修などが計画されており、工程表、イメージをお示ししています。

3ページ、4ページは写真で、後ほどご確認いただければと思います。

以上、これから議論していただく上の材料として、まとめております。もっとこんなものが欲しいとか、詳しい説明が欲しいとか、ご意見をいただければと思います。よろしくをお願いします。

3. 意見交換

【小澤委員長】

どうもありがとうございました。ただいま事務局から動画を使って地域全体の状況、席上に配付された資料により、地域の中のゾーンごとの特性について説明がありました。

これらを材料にして、各委員のご意見・ご発言をいただきたいと思いますが、前回もそうでしたが、冒頭の口切りとして阿部委員からお話を伺い、最後に青柳委員にご発言をいただくことにして、その間、順次各委員からご意見をいただきたいと思いますが、行政機関からご出席の委員の中で、特にご発言しておきたいということがございましたら、挙手をいただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

どうぞ、松本委員。

【松本委員】

今のプレゼンテーションを聞いて、2点ほど申し上げたいことがあります。代官町通りのご紹介はよいのですが、土手の上は環境省が管理している部分です。後でご要望を承るのは結構ですが、区の委員会で、何かを決めると言われても困ってしまうのは前回と同じです。

道路部分は区や都が管理していますから、ご議論いただくのは結構ですし、全体的な代官町通りのイメージをご議論いただくのは結構なのですが、管理者が分かれていることをご認識いただければと思います。

また、千鳥ヶ淵のかいぼりの話がありましたが、かいぼりによってボート場を止めているわけではなくボート場が冬期で休業中の期間にかいぼりを行っておりますので、そこは誤解のないようお願いしたいと思います。

【小澤委員長】

あとの委員、よろしいですか。

小川課長。

【小川景観・都市計画課長】

すみません。ご説明の仕方が誤解を招く形で申し訳ありませんでした。土手の上は、うまく連携ができればいいなという意味でご紹介したところで、管理云々ということをつもりはございませんでした。誤解を招く表現があったようで申し訳ありません。

なお、ボート場は現在冬期休業中です。かいぼりで休業をしているわけではないのは、ご指摘のとおりです。訂正をさせていただきます。

【小澤委員長】

それでは、ご意見をいただきたいと思いますが、まず、地元の方からどうでしょうか。

【窪田委員】

さくら美守り隊をやっております窪田です。

この赤とかグリーンとかで囲まれている地域には、私の感覚では、少なくとも九段坂を上がってきて千鳥ヶ淵に来て、代官町通りの上まで、ごみ箱は置いていません。ごみ箱を置いていなくても、ごみが散らかるといふ様子はなく、皆さんきれいに使われています。

また、このエリアでトイレがあるのは、九段坂公園と千鳥ヶ淵のボート場の前と竹橋の地下鉄の出口のところぐらいだと思います。

これからこの地域の人通りを多くする上で一番心配なのが、代官町通りには高速道路の入口と出口が2つあることです。今まで大きな事故がなく済んでおりますが、この代官町通り周辺ゾーンの1キロの間に高速の入口が一つと出口が2つあるということは、人の流れの中で押さえておかないといけないことだと思っております。

動画を見せていただいた中では、バリアフリーについては、もう少しやっていかないといけない。九段坂や竹橋のところも坂ですので、交通機関としてのバリアフリーをやっていかないといけないのかなと感じました。以上です。

【小澤委員長】

どうもありがとうございます。失礼しました。阿部委員からお願いします。

【阿部委員】

日本大学の阿部でございます。よろしくお願いいいたします。

今、区からのご説明を、4つのゾーンがあって、その個別のゾーンの魅力というか、よさをどう高めていくかという方向性と、それぞれのゾーンを別々にやってもというのがありますので、どうつないでいくかという視点があるかなと思いついていました。

個別のゾーンの魅力を高めるという際に、先ほど動画で見せていただいたように、既にかなりよい空間なのではないかなと思っております。細かいことを言ったらきりがないと思います。空間の質としては随分高くて、そこにさらに魅力を加えていくというと、当然いろいろなことができますが、まずはいい空間があって、それをどのように磨いていくかという視点で議論していくことが前向きかなと思っております。

その中で、人がどういう活動をするかというイメージを具体化して、どこでどんな楽しみ方をしたいか、どんな活動ができるかというイメージを具体化していくと、例えば、ゾーンの魅力で言えば、今、少し足りないかなと思っているのが、学習機能です。前回の意見でエデュケーションだとか、学びとか出ていますが、自然の学習であり、歴史の学習であり、そういった学習機能があると、ますますいいなと思えました。

また、非常によい眺望がありますので、その阻害要因を少しずつどけていくとよいと思います。環境省の管轄ですが、高射砲台跡のカラーコーンはどうかなとも思いましたし、そうした簡単にできることから少しずつ改善していけば、既にいい景観ですので、よりよくなっていくのではないかなと思っております。

これはいろいろな議論はあると思いますが、飲食をもう少し考えると、例えば「かがやきプラザ」のちょうど濠に出たところでコーヒーが飲めたら、ますます人が来るだろうなと思いますし、いろいろな制約もある中で、もう少し飲食を念頭に置くと、魅力が高まるのではないかなと思えました。

各ゾーンをつなぐとき、人は何か回る魅力がないと歩きません。皇居のまわりは、走っ

ている方は回っていますが、散策で1周する方はあまりいないのではないかと思います。私も走ったことはありますが、走っていると非常に気分がよい一方、ただ歩くと時間かかってしまうのかなと思います。

北の丸だとかかなり歩けるといいますから、その散策の魅力はどう高めるかという、先ほど言った学習しながら回れるとか、風景の移ろいを楽しみながら回れるとか、コミュニティサイクル「ちよくる」のご紹介もありましたが、自転車も回るためのツールとして考えていけるのではないかなと、そうした思いを持ちました。

いずれにせよ、課題潰しの話をしていると、将来の方向性を見誤るかもしれませんので、魅力をより高めるにはどうしたらいいかという議論になるといいなと思っております。

【小澤委員長】

どうもありがとうございます。先ほど窪田委員からご意見をいただきましたが、向笠委員、よろしいですか。

【向笠委員】

多分、これは言ってもできないと思いますが、例えば松江の堀川めぐりのように、濠を屋形船で一周できると、おもてなしというか、人も集まるのではないかと思います。

【小澤委員長】

松江の話が出ましたが、ご意見として承っておきます。

【向笠委員】

これはあくまで意見です

【小澤委員長】

はい。新元委員から、どうでしょうか。

【新元委員】

前回もご挨拶しましたが、科学技術館を運営している公益財団法人日本科学技術振興財団の新元と申します。

私どもの館は、環境省から使用許可を受け、北の丸公園に建てられています。先ほど阿部委員からお話がありました学習機能につきましては、前回も「エデュケーション」というお話がありましたが、北の丸公園には国立近代美術館や国立公文書館など、当館を含めてそれぞれの館が現在でも十分に学習機能を果たしていると思います。

また、北の丸公園にある建物の中では、私どもの館が一番子どもたちの集まる建物ではないかと思っております。実際、社会科見学を含めて、たくさん子どもたちに来ていただいています。私どもの目的とする「科学技術を通じて将来の日本を支えていく人材を育てる」というコンセプトの中で、これからオリンピック・パラリンピックが近づくに当たって、ますます「子どもたちのための館」をアピールし、世界中から集まってくる人々にその魅力をお伝えできるような努力をしていきたいと思っております。

アクセスを含めて、公園及び周辺地域全体の利便性が向上するという事は非常にうれしいことなのですが、もう一つ考えてみたときに、まちづくりの目標には、2020東京オリンピック・パラリンピック期間中及びその後を見据えた世界に誇れる風格あるまちづくり、とあります。たしかにこのとおりだとは思いますが、この「見据えた」というと

ころがで、実際に2020年、オリンピック・パラリンピックの開催期間を見据えてみると、まさに夏真っ盛りの時期に行なわれるわけです。非常に暑い中で、北の丸公園及び周辺地域がどういう役割を果たせるか。

前回を含めて北の丸公園周辺地域を活用するいろいろな話が出ていますが、武道館はオリンピック・パラリンピックそのものの会場になるわけですから、スポーツを見る方を含めて、多分、何もしなくても相当たくさんの方がここに集まる。しかも炎天下、暑い中で集まる。その人たちに快適に過ごしていただくにはどのようにしたらよいか考えることも、非常に重要なことなのではないかと思います。

一つの場所に停滞して、熱中症などが起きたら問題になると思いますし、そういうことも踏まえて全体を考えてみたときに、素人考えではありますが、あまり手の込んだことを追求するというのはいかなものかなど。公園内は環境省さんがきちんと整備をしていますし、非常に快適な公園なのです。北の丸公園の自然を活かし、さらに今ある施設がその機能を十分に発揮し、周辺地域を含めたオリンピック・パラリンピック開催地東京のオアシスとして機能できればと考えます。

もちろんオリンピック後のことも見据えながら、オリンピック・パラリンピックの開催期間中、特に暑い夏であることに想像力を働かせた場合に、この北の丸公園とその周辺地域がどのような役割を果たせるかということを考えながら進めたらどうかと思います。以上です。

【小澤委員長】

どうもありがとうございます。続きまして、一般財団法人国民公園協会の伊藤委員からお願いします。

【伊藤委員】

一般財団法人国民公園協会の伊藤です。

今日、いろいろお話を伺って、改めてここの地域はすばらしい、歴史的な遺産も含めてすばらしい地域だなということを感じました。

この地域の魅力をますます高めていくためには、今回の議論の範囲ではないかもしれませんが、お濠の水質を高めていくこと。とりわけ環境省、それから東京都下水道局など、いろいろ関係機関はあると思いますが、そちらの努力もぜひお願いしたいと思いました。

ここの地域のすばらしい環境を多くの皆さんに味わっていただくために、先ほど自転車の利用というお話がありました。これも非常に魅力的なお話で、環境によい自転車で、この地域を楽しむ方法を区でいろいろ考えていただけるとありがたいなと思いました。

一方で、自転車が歩行者にいろいろ危害を加えるような場合もありますので、そういったことがないような方向で、自転車の利用をぜひ考えていただきたいなと考えた次第です。

【小澤委員長】

どうもありがとうございます。続きまして、実業の世界から木下委員にお願いします。

【木下委員】

庭のホテル東京の木下でございます。

私の立場上といいますか、どうしても観光客の視点で見た場合にとということで、いろいろ考えています。ほかの委員の方々がおっしゃっていることと重なる話なのですが、桜の時期はもちろんですし、それ以外のときでもお濠を見ながら1周するのはちょうどいい

ところかなと思います。整備がされた時点で、庭のホテルのお客様に「あそこをぐるっと歩くといいですよ」とお勧めできるような場所にぜひなってほしいなと思っています。

そのためには、これもお話が出ていますが、トイレですか、飲食というか、そんなに立派なものではなくていいのですが、一休みできるような場所があるといいなと思います。

また、九段坂や千鳥ヶ淵は子どもの頃からさんざん通っているのですが、代官町通りは、車ではよく通りますが、歩いて通ったことはあまりないなと思います。それなりに長い距離なので、歩いて通るときに魅力のある雰囲気はどうしたらいいのか、具体的なアイデアが今出てこないのですが、あればいいなと。実は土手まで上がったことがなかったのと、先ほど動画を見ていて思ったのですが、「ここへ行くとしてきな風景が見られますよ」みたいなものの案内があるとか、先ほどから出ていますように、非常に歴史のある場所ですので、多言語、最低限でも英語表記のある「歴史を学べるサイン」があるなど、楽しみながら歩ける場所になるような案を出していただければうれしいなと思っています。

【小澤委員長】

ありがとうございます。続きまして、おもてなしランナー協会の桃園委員をお願いします。

【桃園委員】

一般社団法人おもてなしランナー協会の桃園と申します。

北の丸公園周辺でも2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けての施策は必要だと思います。

私どもおもてなしランナー協会では、北の丸公園周辺からは外れますが、千鳥ヶ淵公園で昨年の9月から「おもてなし給水サービス」を実施しています。2020年のオリンピック・パラリンピックが夏に行われることを踏まえ、千代田区独自のおもてなしとして、ランナー、ウォーカー、観光客の方々に月1回給水行っております。北の丸公園周辺でも今後そのような活動をやっていけたらいいなと思います。

「おもてなし給水サービス」を通じて、皇居周辺のランナーサポート施設、ランニングクラブ等のみんなで熱中症予防に取り組んだとして、環境省推進の「ひと涼みアワード2016」の優秀団結賞をいただきました。今後も活動を続けていきたいと思っています。

一方、私ども皇居周辺ランナーサポート施設・ランニングクラブ等連絡会では、月に1回、千代田区の会議室をお借りして、皇居ランニングのマナー啓発活動などの情報共有を図っています。

皆様もご存じだと思いますが、皇居周辺には「歩道利用マナー」があります。代官町通りには歩道が狭い部分もあり、ランナーにはマナーを守って走ってもらう必要があります。「歩道は歩行者優先」とか、「周回は反時計回りに走りましょう」とか、「狭いところは一列で走りましょう」など、9カ条のルールがあり、マナー啓発も引き続ききちんとやっとうとと思っています。

ランナー、ウォーカー、自転車、歩行者の方々の共通のマナーの啓発をし続けることによって、皇居周辺、北の丸公園も含めて、皆さんが共存できる心地よい空間づくりができるのではないかと考えております。

全く違う話ですが、「清潔で安全・安心な誰にも優しいバリアフリーのあるおもてなしのまち」と、「千代田区に住み集う多様な人々がそれぞれの立場や障害の有無を乗り越えて、お互いの価値観や文化を受け入れるまち」について、2020年のオリンピック・パラリンピックに向かって、観光客や障害のある方々がこの地域にたくさんいらっしゃいますので、おもてなしランナー協会としても、そのような意識を持とうとしています。

それに関連して、私が持ち歩いている「コミュニケーションチャーム」をご紹介したいと思います。このカードは、○×、イエス・ノー、エクスキューズミー、サンキューですとか、お手洗い、病院、電車、携帯電話などのマークが表示されており、「困っている人をサポートしますよ」という意思表示を示すものです。言葉ができなくても、指差しで意思の疎通ができますので、ハンディキャップのある方々、外国人の方々にも使えます。

また、このカードは、福祉施設でゴムひもをつけ、パッケージをして販売しています。このようなものを千代田区で作っていただき、区民や在勤の方々にも認識を持っていただければ、2020年に向かって、よいことではないかなと個人的に思い、ご紹介させていただきました。

おもてなしランナー協会は、2020年を含め、その先の未来に向かって千代田区の一員として、このような活動をずっと続けていこうと思っております。皆様方ともいろいろな情報を共有したいと思っておりますので、よろしく願います。以上です。

【小澤委員長】

ありがとうございました。廣常委員、いかがでしょうか。

【廣常委員】

新産業文化創出研究所の廣常です。

前回、発表させていただいたときの要点の繰り返しになるのですが、今回、先ほどのようにオリンピック・パラリンピックに向けてということもありますが、よく言われるレガシーということで、ハードウェアの整備は、そのままハードレガシーにはなると思いますが、前回発表させていただいたように、ソフトレガシーとして、その地域のさまざまなまちづくりの活動における行動変容とか態度変容を誘発させることができるか、もしくは、それによって、さまざまな活動をしやすいように、ハードウェアそのものにその活動を支援するためのハードが、例えばインフラとして整備されるかどうかという、そこも一緒に議論をしていただくと、景観だけではなくて、その景観の中に使うソフトを、もしくは技術を、後の活動者が、もしくは周辺のまちづくりの地権者であったり、企業であったり、NPOや市民の方が、それを活動の一つのエンジンとして、あとは自主活動に移っていければ、もう少しまちづくりが自立的になるのかなと。

まちは道路だけでは決まらないと思いますし、北の丸公園もそうなのですが、かなりその周辺の民間用地のさまざまな協力も重要かと思っています。前回、やはり、公民連携のまちづくりということで発表させていただきましたが、それをこの道路ないしは北の丸公園が誘発するような環境を醸し出すと。先ほどレストランとか飲食の例がありましたが、遊びに来たときに、その周辺におしゃれなお店があれば、それとその景観が一体化するし、当然まちの中でも、その景観にあわせたファサードであるとか、もしくは活動をそれぞれがTPOに合わせて誘導していけると思います。そこで、前回幾つかポイントを挙げましたが、一つは、夜の場面というか、ライティングですね。今、昼間の光景を映していただきましたが、何度も夜見ても、夜は真っ暗な状況です。特に先ほどの代官町のところの通りは、夜歩くと車のライトが真正面から来て怖いエリアですので、それをどのように和らげるかというのが、恐らく夜のライティング、もしくは、その周辺の街灯の演出ではないかなと思っています。で、そういう街灯の演出とかがあると、これは何かのイベントのときも、もしくはライティングや照明として、時折、シーンによって色を変えたり、場合によっては演出法を変えるということで、全く同じ光景ではないことが何度か繰り返されると、リピーターが来るようになるかと思っています。東京タワーでも、同じライティングで

はなくて、季節ごとにいろいろな照明を行っているので、そういう演出が話題になって、最近ではSNSに上げられて、その地域のPRをどんどんしていただけるきっかけにもなるかなと思っています。

そういうライティングがあるということは、当然、エネルギーインフラが整備されるということになりますから、そういうエネルギーインフラも、以前はそういうものをうまく活用して、イベントであるとか、例えば、よくあるキッチンカーや移動販売車が来ると、発電機をたいてプロパンガスでたいて、危険な状況で違法営業してしまう。ところが、福岡などの九州では、屋台村の場合は、水道・電気のインフラを道路に敷いてあります。そのため、占用料金を取っていますが、道路周辺でもそのような演出をすることで、ある意味、道路マネジメントも可能になってくるのかなと思っています。

もう一つが、サイネージですね。上野公園では、東京都の当時の公園整備をやられた部長とも話をしたのですが、ここでも、武道館もありますし、科学技術館もあるのですが、それぞれの施設の催し物の中には入らないとわからない。北の丸公園で行われている催し物の入口における誘導の案内は、恐らく存在していない。

上野公園で大問題になったのは、中にあるいろいろな施設が立て看板を上野駅側に立て出したこと。そうすると、美術館の立て看板はある、いろいろな立て看板はある、景観上物すごく悪いということで、統一のサイネージをつけて、それをそれぞれが共有利用できるようにものをつくったということ聞いております。そのようなこともそのサイネージをうまく活用すれば、中の催し物だけではなくて、その地域の観光案内や、先ほどお話があったように、外国人向けの案内をデジタルサイネージとして多言語で提供することも可能かなと思っています。

もう一つは、これは例えばということで、例外な話で、ここでは、やはり観光客の方や一般の方々が楽しめるための演出として、先ほどの照明以外には、皇宮警察の騎馬隊なども常駐警備の範疇に、どこかちょっと範疇を超えて、この道路にも出てもらうだけでも、かなりインパクトのあるものになるのかなと。実際、今、日本国内において警察の騎馬隊は、皇宮警察と京都府警と警視庁しかないわけですが、ほとんどそれが観光用のリソースに使われていない。海外は大半が警備だけではなくて、観光リソースとしてのおもてなしに使っている。この辺はハード整備では関係ない話ですが、これをきっかけに、そういう活動ができるようになれば、ソフトレガシーとしての一つの成果かなと思っています。

前回の繰り返しになりますが、その点、できればと思っていますので、よろしく願います。

【小澤委員長】

どうもありがとうございます。金子委員、いかがですか。

【金子委員】

金子でございます。

実際に歩いて感じるのですが、映像を見ると、この地域は非常に坂が多く、障害者やベビーカー利用者にとって、非常に大変なところです。例えば電動車いすを貸出す場所をつくって、ご案内していくなどの配慮ができればいいと思います。

道路上の案内板はだんだん変わってきているのですが、もう少しわかりやすいものにしていただきたい。例えば、代官町通りはかなりの急坂で、途中で大きな歩道橋が幾つかあり、反対側の道に行くとき、右側を歩くか左側を歩くかによって、かなり先にならないと渡れないことがあります。最初から案内板で確認できれば、竹橋の交差点で渡っておけば

よいわけです。そのような本当に歩く人の視線に立った案内板の設置は、ぜひやっていただきたいと思います。

私もかなり歩いていますが、ランナーが自転車で来ることが多く、皇居周辺でも放置自転車、あるいは持ってきたペットボトルなどのごみをベンチに置いて、そのまま行ってしまう方が結構見受けられます。あのあたりに自転車を止められるようなところがないか、そういうことを考えていくとよいと思います。

以上です。

【小澤委員長】

ありがとうございます。麴町警察署長の衣川委員の代理で佐川様、ご発言ありますか。

【佐川氏（衣川委員代理）】

ございません。

【小澤委員長】

それでは、東京都第一建設事務所長の新谷委員。

【新谷委員】

第一建設事務所の所長というよりは、個人的な意見として。私、絵を見るのが好きなので、よく竹橋の駅を降りて、国立近代美術館へ行き、その後、展覧会によっては工芸館へ行って、その後どうするかと考えると、大体北の丸公園の中を歩いて九段下の方に抜けるという行動をとります。

今日、ストリートビュー的に見せていただいて、あれ、いつも自分はこれしか歩かないのかなと思いながら見ていたのですが、結局、初めてこの図面を見て、このまわりにこれだけ資産価値のあるものがあることがわかりました。というのは、駅を降りても何も案内板がないし、全体図がどうなっていますよというお知らせがないので、結局、自分が知っているところだけしか行かないし、知っているところで帰って行ってしまいます。

正直言って、先ほど阿部委員が紹介された「高射砲台跡」があることを知りませんでした。「このあたりには、そういう（魅力ある）ものが点在していますよ」ということをきちんと案内すれば、個別のものを紹介するのではなく、全体図を紹介すれば、このまちの魅力を知ることができ、かなりいいまちになるのではないかなと思いました。

代官町通りも1回歩いたことがあるのですが、代官町通りを歩いて九段下に行くかといったら、大半の人は近くにある半蔵門駅に行くのですね。必ずしも一周して戻るわけではなく、途中で抜けていく動線もあり、そういう歩き方もあるのではないかなと思いました。

この委員会の意見には反するかもしれませんが、来訪者を増やすことがこの地域にとって本当によいことかどうか。昔の銀座の魅力は、落ちついた大人のまちだったのが、今、観光客の皆さんが大勢いらっしゃることは悪いことだとは思いますが、あまりにも人が多過ぎて、正直言って私は、銀座よりも日本橋に買い物に行ってしまう。

同様に、ここの歩道空間は非常に限られていますので、「とにかく人が来てください、いっぱい来てください」とアピールして、人がごった返すようなエリアになってしまったら、かえって魅力がなくなってしまうのではないかな。むしろ静かに、おとなしく散策してくださいと。先ほどのお話のように、訪れる人に「ここにはこういうもの（歴史的な遺構）もありますので、どうぞ」という案内をして、学習し、知識を深めてもらう方がむしろこのエリアにはふさわしいのではないかなと思います。

第一建設事務所の所長という問題があるので、一都民としての感覚で申し上げました。

【小澤委員長】

ユニークな視点でありありがとうございました。それでは、宮内庁の石原委員の代理で福富様ですね。ご発言ありましたら。

【福富氏（石原委員代理）】

私も代理ですので、一言だけ申し上げさせていただきます。

今日、拝見した資料の中に、代官町通り周辺ゾーンということで、人物像として皇居の通り抜け客ということが謳われております。周辺の方々にはご迷惑をかけているところですが、宮内庁では春と秋に「乾通りの通り抜け」を行っております。

かなり多くの方々が来られて、その方々が北の丸公園周辺にも流れているところです。

なお、現在、乾通りの整備中で、今年の秋は「通り抜け」を行いませんでした。来春も整備のため、今のところ通り抜けをする予定がありません。

一方、私どもが苑地開放しております東御苑の入園者数が現在130万人を超えております。本年度、秋の「通り抜け」がない中で、観光客の方が増えている状況です。

観光立国を目指す国の施政方針もありますので、私どももただ来ていただくのを待っているだけではなくて、ご存じの方もいらっしゃるかもしれませんが、今まで非公開の場所を公開したり、苑地の整備、多言語対応ができるような整備を今、東御苑内で考えているところです。そうしますと、必然的に東御苑へ来ていただける方が増えていくのではないかと考えております。宮内庁単独で観光客の方を増やすために、観光立国を目指しているわけではないところですので、前回、委員の石原からも申したと思いますが、安心して多くの方々が集まれるような北の丸公園周辺の環境整備が進んでいくことを宮内庁としては望んでいるところです。特にこういった計画の中で、当庁から意見はないのですが、全体的により良い環境整備が進んでいけばいいなと期待しているところです。以上です。

【小澤委員長】

ありがとうございました。今、観光立国、観光ビジョンの話が出たのですが、観光庁の岡村委員の代理で荷見様、何か観光政策のお話がありましたら、お願いします。

【荷見氏（岡村委員代理）】

関東運輸局で観光を担当しています荷見と申します。本日、代理でございますが、私ども観光庁から、観光ビジョンに向けていろいろな施策をしようということで、先ほど宮内庁の方がお話されていましたが、いろいろなところで国の施設を開放したり、先ほどのお話にありましたように、多言語化対応を進めているところです。

各省庁が集まった観光ビジョンの戦略会議を来年度から開催するため、先週の16日に準備会を立ち上げました。お隣にいる環境省にも入っていただきながら、今後、観光ビジョンに向けて、政府もそうですが、各支部分局も観光立国に向けた取組をしております。

今回、北の丸公園とその周辺ですが、観光の立場から言いますと、皇居には外国の方が大勢訪れるのですが、「なぜ皇居に行くのですか」と尋ねると、「景観がよくて」「お金がかからない」。前回、駐車問題をお話ししたと思いますが、外国人の行先では、新宿、浅草、秋葉原、銀座などがありますが、その中で浅草へ行くのには、お金がかかりません、入場料がかからないということで、浅草は結構人気があります。

川を渡ったところに新しい施設（東京スカイツリー）もありますが、あそこは上に上がるのに料金がかかるので、なかなか行けないと聞いております。団体で来る方の中は、スカイツリーに行く方はいます。

今後は、FITということで、個人旅行者が増えてきますので、団体で来ないで、先ほどお話がありましたが、静かに見ていただくという部分では、私としても賛成かなと思います。個人旅行者で楽しんでいただくようなまちづくり、魅力のある景観づくりがあるのかなと思います。

ビジョンの話はそのくらいなのですが、先ほどの映像を拝見して、観光の視点から幾つか気になった部分があります。私もここへ来る1時間ぐらい前に来て、武道館のところとか、北の丸公園の中を通過して清水門まで抜けてきたのですが、確かにこの資料の中には銅像とかあるのですが、見過ごしたのかもしれないが、これは何の銅像だろう、誰がどういったことをしたのだろうかとか、そういった説明書きがないので、ただ見るだけになっています。北の丸公園の中にも、吉田茂という日本人なら誰でも知っている銅像が立っていますが、外国の人が見たら「あれ、何をした人？」という印象かなと思います。名前だけは大きく出ていたのですが、「これは何のためにあるの、どういう歴史があるの」という部分も日本語あるいは最低英語で表記して、「あそこに行くと、何かこんなのがあったよ」と話題になればと思います。

先ほど阿部委員からもあったように、学習をしながら歩くという部分もありますので、ただ「明治時代に活躍した」だけではなくて、「こういったことをやった」という部分も散策しながら学習する、そんな景観づくりもいいのかと思っております。

【小澤委員長】

どうもありがとうございます。松本所長、重ねてございますか。

【松本委員】

また2点ほどですが、1点は、代官町通り、何か案内的なものが少ないような話もありました。散歩道の標識などもあるのですが、私も非常にわかりにくいかなと思います。あまり大勢の人が来てもらっても困るのかなというのはあるのですが、高射砲台跡ももう少しわかりやすく案内できたほうが良いのではないかなと思っております。

また、お濠の水の話がありましたが、天候や年によっていろいろ上下があるのですが、基本的には改善傾向にあります。循環ろ過処理施設をつくり稼働していますが、今後、オリンピック・パラリンピックに向けフル稼働目指し、新たな施設整備をすることになっておりますので、さらによくなっていくと思います。

先ほどの千鳥ヶ淵のかいぼりもその一環です。牛ヶ淵では夏にハスが大量繁殖していますし、ヒシなども自然生態系的にはあまり好ましくないことから、実は若干、刈り取りなどもやっています。誤解があるのは、水質が改善して、水草が増えてきているのですが、それが水面上に出てきてごみが絡まったりして、見た目が悪いというお話をよく伺うことがあります。全体的には改善しているのですが、景観的にいろいろ工夫がいるのかなと思います。

【小澤委員長】

どうもありがとうございました。各委員それぞれの立場で貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。それでは、青柳副委員長からお願いしたいと思っております。

【青柳副委員長】

私、神保町三丁目に住んでいて、普段からここを散策したり、虎ノ門まで歩いたり、天気がいいときはかなり歩いているほうです。

いつも歩いている、気になるところがいくつかあります。

九段坂公園の品川弥二郎像の背中あたりのお濠側が本当に狭いこと。千鳥ヶ淵の緑道が内堀通りにぶつかって、内堀通りから代官町通りに入る間のところが少し盛り上がっていて、妙に人工的な感じになっていること。窪田委員がおっしゃっていた高速道路の2カ所の出口。代官町通りが工芸館に向かって高速道路を乗り越えて向こうに行かなくてはいけないこと。竹橋の毎日新聞社寄りの清水濠まちかど庭園から九段坂病院までの間。そのあたりが非常に歩きにくいし、歩行者優先ではないなと思います。

64年の東京オリンピックの前に、東（あずま）都知事が60年のローマオリンピックを見に行きました。ローマオリンピックで渋滞が起こるところには、歩道橋をかけたのです。東都知事は「便利だ」というので、早速導入した。東京都で歩道橋が急に増えるのですが、ローマオリンピックが終わった後、ローマ市は歩道橋を全部撤去しました、

そのあたりの感覚がまちづくりをいかに本格的にやるか、あるいは歩道橋でごまかしてしまうか。これはもう思想的な違いなのですが、そろそろ日本もこれだけ成熟社会になりつつあるのだから、もう少し歩道橋を本格的に考えていいのではないかと。そういう意味では、高速道路の出口あたりは、あせざるを得ないのかもしれませんが、もう少しきちんと考えるべきではないか。

私はオリンピック・パラリンピック組織委員会の文化教育委員長をやっており、文化オリンピックは私の責任ですが、気運を盛り上げるためには、いろいろなことをやっていただきたいですが、あまり無理をするとギリシャのようになってしまいますし、のんびりやっていいのではないかと。

もう一つ、上野公園の活性化に以前からずっと参画していて、ようやく国立西洋美術館を世界遺産にしたのですが、JR上野駅公園口の前を通っている道路があります。あれはいろいろな案があるのですが、実は台東区と東京都とJRが地権者なのですね。その三者でいろいろ話し合っただけで、まだ実現するかどうかわからないのですが、下から上がってきて、ロータリーでまた戻る。寛永寺のほうから下がってきて、改札口の前でまたロータリーで戻って、改札口から公園の間をそのまま公園にしてしまおうという案があります。今非常に危ないのです。あそこは道路が通っていて、東京文化会館で音楽会などがはねると、千人以上の人々が道を渡らなくてはいけない。本当は地下化すればいいのですが、それはできないからループ状にして、公園の平面にしようということになる。

地権者それぞれの管理があり、実現するかどうかわかりませんが、お互いに協議を深めて、できることは実現していくのがまちづくりではないかなと感じております。

それから、この地域は日本を代表するようなところで、そのためのさまざまな説明も必要ですが、日本のまちは看板が野放しになってしまっていて、サイン計画のレベルも非常に低いのです。ヨーロッパなどは、まちで使える看板の色や大きさも制限されていますし、建物の外壁や看板が公共空間のものだという意識がありますが、日本はもうやりたい放題です。公共的なサイン計画も非常にレベルが低くなってしまっているので、きちんと考えるべきだろうと思います。

最後におもてなしランナー協会の方がいらっしゃるから何ですが、皇居周辺にランナーは集中していただきたい。普段私は歩いているのですが、皇居のまわりを歩くときは、歩行者は肩身を狭くしないと歩けないのですね。それが北の丸公園の周辺までになってしまうと、ここに住んでいる者、普段歩く者としては負担になる感じがします。

今、山中湖は、富士山が世界遺産になったので、湖畔の一部を南洋材でデッキ状にしています。かなり長い距離ですね。いろいろな工夫をそれぞれのところでやられています。

さまざまな取組がどう実際に運用されているのか、もう少し情報収集することが必要なのではないかと感じました。以上です。

【小澤委員長】

どうもありがとうございます。一通り各委員の皆様からご意見を伺いましたが、さらに何かご発言がありましたら、お願いします。よろしいでしょうか。

それでは、冒頭、事務局からお話がありましたが、今日は第2回ということで、この地域の現況、それぞれのゾーンごとの特色を見ていただき、各委員から今後の進め方に照らして、それぞれの視点でご意見をいただきました。

ご意見は事務局で消化していただき、次回、素案としてまとめて、ここでまたご意見いただきたいと思います。周辺地域全体のまちづくりに関する考え方の案と、核になる九段坂公園と代官町通りのどちらかという施設整備、ハード整備を進めていく上での基本的な考え方を次回まとめて、各委員からご意見を賜りたいと思います。年明けになるかどうかと思いますが、日程を調整させていただき、ご出席をしていただくことになろうかと思えます。

次回の日程については、今後、事務局が調整するというのでよろしいでしょうか。日程の件も含めて、よろしくをお願いします。

【小川景観・都市計画課長】

事務局からご報告をさせていただきます。

今回頂戴しましたご意見ですが、先ほど冒頭に報告させていただきました区議会の特別委員会に報告し、ご意見をいただくことを考えております。

次回、3回目の委員会ですが、今のところ2月下旬頃の開催を考えております。委員の皆様には、別途ご連絡をさせていただきますので、よろしくをお願いします。

第1回に松本委員から「現地をご覧になったら」というご提案も頂戴しておりますので、これも検討させていただきたいと思えます。ただ、これから寒くなるので、ご希望の方を確認した上で、開催させていただきたいと思っております。事務局からは以上です。

【小澤委員長】

それでは、次回はまた改めて日程調整をさせていただきということで、2月を目処に考えているということです。

以上をもちまして、本日、第2回の委員会、終了させていただきます。どうもありがとうございました。